

# 第76回国民体育大会 三重県準備委員会

## 第6回 総会



とこまる

# 三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

平成29年7月31日(月)

ホテルグリーンパーク津

6階 伊勢・安濃の間



# 第76回国民体育大会三重県準備委員会 第6回総会 次第

期日：平成29年7月31日（月）

時間：14：00～14：50

場所：ホテルグリーンパーク津  
6階 伊勢・安濃の間

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 イメージソングの披露

## 4 報告事項

（報告事項1）第76回国民体育大会三重県準備委員会 委員及び役員等の変更・・・P 3

（報告事項2）専決処分した事項・・・P 6

（報告事項3）第9回、第10回常任委員会における審議決定事項・・・P 9

（報告事項4）2020年オリンピック開催に伴う正式競技（種目・種別）の追加  
について・・・P 22

（報告事項5）第76回国民体育大会 大会会期について・・・P 23

（報告事項6）国民体育大会の名称変更の検討について・・・P 24

## 5 審議事項

（第1号議案）平成28年度事業報告（案）・・・P 25

（第2号議案）平成28年度収支決算（案）・・・P 28

（第3号議案）平成29年度事業計画（案）・・・P 30

（第4号議案）平成29年度収支予算（案）・・・P 31

## 6 会場地市町への国体旗贈呈

## 7 閉 会

### 【参考資料】

- ・第76回国民体育大会三重県準備委員会 会則・・・P 33
- ・第76回国民体育大会三重県準備委員会 組織構成・・・P 37
- ・第76回国民体育大会三重県準備委員会 名簿・・・P 38



# 報告事項



## 第 76 回国民体育大会三重県準備委員会 委員及び役員等の変更

平成 28 年 8 月 2 日以降における委員及び役員等の変更について、第 76 回国民体育大会三重県準備委員会会則第 8 条第 3 項及び第 9 条第 5 項の規定により報告します。

## ○副会長

(敬称略、順不同)

選出区分	所属機関・団体・役職名	前任者	新任者
県議会関係	三重県議会議長	中村 進一	舟橋 裕幸
市町関係	三重県市長会会長	日沖 靖	前葉 泰幸
県(行政)関係	三重県副知事	石垣 英一	稲垣 清文
県(行政)関係	三重県危機管理統括監	稲垣 清文	服部 浩
県(行政)関係	三重県教育委員会委員長	前田 光久	森脇 健夫
		森脇 健夫	—
県(行政)関係	三重県教育委員会教育長	—	廣田 恵子

## ○常任委員

(敬称略、順不同)

選出区分	所属機関・団体・役職名	前任者	新任者
県議会関係	三重県議会総務地域連携常任委員会委員長	大久保 孝栄	下野 幸助
学校関係	三重県中学校体育連盟会長	中村 宏	中西 裕之
産業・経済関係	三重県商工会議所連合会会長	小林 長久	岡本 直之
産業・経済関係	三重県経営者協会会長	岡本 直之	小倉 敏秀
県(行政)関係	三重県健康福祉部長	伊藤 隆	田中 功
県(行政)関係	三重県環境生活部長	田中 功	井戸畑 真之
県(行政)関係	三重県地域連携部長	服部 浩	鈴木 伸幸
県(行政)関係	三重県地域連携部南部地域活性化局長	亀井 敬子	伊藤 久美子
県(行政)関係	三重県農林水産部長	吉仲 繁樹	岡村 昌和
県(行政)関係	三重県雇用経済部長	廣田 恵子	村上 亘
県(行政)関係	三重県雇用経済部観光局長	水島 徹	河口 瑞子
県(行政)関係	三重県企業庁長	松本 利治	山神 秀次
県(行政)関係	三重県病院事業庁長	加藤 敦央	長谷川 耕一
県(行政)関係	三重県教育委員会教育長	山口 千代己	—
県(行政)関係	三重県警察本部長	森元 良幸	難波 健太

## ○監事

(敬称略、順不同)

所属機関・団体・役職名	前任者	新任者
市会計管理者	小山 誠	森井 啓

## ○委員

(敬称略、順不同)

選出区分	所属機関・団体・役職名	前任者	新任者
市町関係	四日市市長	田中 俊行	森 智広
市町関係	尾鷲市長	岩田 昭人	加藤 千速
市町関係	鳥羽市長	木田 久主一	中村 欣一郎
市町関係	志摩市長	大口 秀和	竹内 千尋
市町関係	三重県市議会議長会会長	川村 幸康	細矢 一宏
市町関係	三重県市町教育委員会連絡協議会会長	福田 みゆき	上島 和久
スポーツ関係	一般財団法人 三重陸上競技協会会長	豊田 利一	田村 憲久
スポーツ関係	三重県フェンシング協会会長	木田 久主一	野村 保夫
スポーツ関係	三重県柔道協会会長	乙部 満生	平賀 秀忠
スポーツ関係	三重県弓道連盟会長	宮内 道廣	伊藤 徹
スポーツ関係	三重県クレール射撃協会会長	後藤 公彦	—
スポーツ関係	三重県クレール射撃協会理事長・副会長	—	木村 賢二
スポーツ関係	三重県ボウリング連盟会長	脇谷 利男	—
スポーツ関係	三重県ボウリング連盟理事長	—	田口 隆夫
スポーツ関係	三重県ゴルフ連盟会長	諸戸 精孝	谷川 憲三
スポーツ関係	一般財団法人 三重県高等学校野球連盟会長	木村 元茂	和田 健治
スポーツ関係	三重県パワーリフティング協会会長	高橋 千秋	—
スポーツ関係	三重県パワーリフティング協会理事長	—	三橋 信之
スポーツ関係	SC みえネットワーク会長	伊藤 弘美	田中 栄一
学校関係	三重県小中学校長会会長	森田 正美	川合 陽一郎
学校関係	三重県高等学校長協会会長	東 則尚	—
学校関係	三重県立学校長会会長	—	和田 欣子
学校関係	公立大学法人 三重県立看護大学学長	早川 和生	—
学校関係	公立大学法人 三重県立看護大学理事長・学長	—	菱沼 典子
学校関係	学校法人暁学園 四日市大学学長代行	岩崎 恭典	—
学校関係	学校法人暁学園 四日市大学学長	—	岩崎 恭典
学校関係	学校法人大橋学園 ユマニテク短期大学学長	—	大橋 正行



学校関係	独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校校長	新田 保次	林 祐司
学校関係	三重県PTA連合会会長	原田 浩伸	松山 安利
産業・経済関係	公益社団法人 日本青年会議所東海地区 三重ブロック協議会会長	水谷 宗徳	林 佳宏
産業・経済関係	三重県漁業協同組合連合会代表理事会長	清水 清三	湯浅 雅人
通信・運輸関係	東海旅客鉄道株式会社三重支店支店長	大脇 誠	堀 保彦
通信・運輸関係	西日本電信電話株式会社三重支店支店長	横山 桂子	大西 秀隆
交通・消防関係	三重県消防長会会長	山本 良也	坂倉 啓史
文化・社会团体等関係	一般財団法人 三重県老人クラブ連合会会長	久留原 進	西川 明正
文化・社会团体等関係	一般社団法人 ガールスカウト三重県連盟連盟長	河口 和子	—
文化・社会团体等関係	一般社団法人 ガールスカウト三重県連盟顧問	—	河口 和子
文化・社会团体等関係	三重県ボランティア連絡協議会会長	泰道 詞子	川瀬 みち代
文化・社会团体等関係	国際ロータリー第 2630 地区ガバナーエレクト	田山 雅敏	—
文化・社会团体等関係	国際ロータリー第 2630 地区ガバナー	—	田山 雅敏
官・公署関係	防衛省自衛隊三重地方協力本部本部長	内田 昌輝	鹿子島 洋

○参与

(敬称略、順不同)

所属機関・団体・役職名	前任者	新任者
三重県議会議員	稲垣 昭義	—
三重県議会議員	中村 欣一郎	—
三重県議会議員	森野 真治	—
三重県議会議員	—	野村 保夫
三重県教育委員会委員	柏木 康恵	—
三重県教育委員会委員	—	黒田 美和
三重県教育委員会委員	—	原田 佳子
中日新聞社三重総局総局長	阿部 和久	石川 保典
中部経済新聞社三重支社三重支社長	杉山 康德	坂本 和優
一般社団法人 共同通信社津支局支局長	山田 史生	橋田 欣典
東海ラジオ放送三重支局支局長	石川 眞	澤田 啓
株式会社シー・ティー・ワイ代表取締役社長	塩冶 憲司	渡部 一貴

## 専決処分した事項

第 76 回国民体育大会三重県準備委員会会則第 14 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり専決処分しましたので、同条第 2 項の規定により報告します。

### 1 平成 28 年度補正予算

輸送・交通調査事業の事業実績の見込み等が当初予算を下回ることから、補正予算について専決処分を行った。

(平成 28 年 9 月 15 日 専決処分)

### 2 平成 29 年度暫定収支予算

平成 29 年度に実施する会議の開催、競技役員の養成及び事務局の運営に係る経費のうち、年度当初から総会開催までの期間の必要額について、暫定収支予算として専決処分を行った。

(平成 29 年 4 月 3 日 専決処分)

平成 28 年度 補正予算

1 収入の部

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正額	補正後予算額	説明
負担金	45,567	△5,243	40,324	事業費の減に伴う三重県負担金の減
合計	45,567	△5,243	40,324	

2 支出の部

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正額	補正後予算額	説明
事業費	43,773	△5,243	38,530	輸送・交通調査委託業務入札差金による減
事務局費	1,794	0	1,794	
合計	45,567	△5,243	40,324	

## 平成 29 年度 暫定収支予算

### 1 収入の部

(単位:千円)

科目	予算額	説明
負担金	17,970	三重県負担金
合 計	17,970	

### 2 支出の部

(単位:千円)

科目	予算額	説明
事業費	17,880	競技役員等養成事業費、総合開・閉会式基本 計画策定、各種会議開催等、広報・県民運動 関連費、輸送・交通調査委託費
事務局費	90	事務局運営経費
合 計	17,970	

## 第 9 回、第 10 回常任委員会における審議決定事項

第 76 回国民体育大会三重県準備委員会会則第 12 条第 7 項の規定により報告します。

### 1 第 9 回常任委員会（平成 29 年 3 月 27 日）〔報告事項 3 - 1〕

次の事項について審議し、決定しました。

#### 【審議決定事項】

- (1) 第 76 回国民体育大会 デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場  
地市町第一次選定
- (2) 第 76 回国民体育大会 輸送・交通基本計画
- (3) 第 76 回国民体育大会 医事・衛生基本方針
- (4) 第 76 回国民体育大会 医事・衛生基本計画

### 2 第 10 回常任委員会（平成 29 年 7 月 31 日）〔報告事項 3 - 2〕

次の事項について審議しました。

#### 【審議事項】

- (1) 第 76 回国民体育大会 デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場  
地市町第二次選定（案）
- (2) 第 76 回国民体育大会 募金・企業協賛基本方針（案）
- (3) 第 76 回国民体育大会 イメージソングの選定（案）

第76回国民体育大会 デモンストレーションスポーツ  
実施競技選択及び会場地市町第一次選定

## 【実施予定競技別】

	実施予定競技	会場地 市町	競技団体	競技会場予定施設
1	ウォーキング	尾鷲市	三重県ウォーキング協会	三重県立熊野古道センター周辺
2	ウォークラリー※	度会町	(一社)三重県レクリエーション協会	宮リバー度会パーク周辺
		御浜町	御浜町体育協会	御浜町内特設会場
3	エアロビック	鈴鹿市	三重県エアロビック連盟	AGF鈴鹿体育館
4	カローリング	大紀町	大紀町スポーツ推進委員協議会	大宮中学校・大宮小学校
5	キンボールスポーツ	伊賀市	三重県キンボールスポーツ連盟	三重県立ゆめドームうえの
6	健康体操	松阪市	三重県健康体操連絡協議会	さんぎんアリーナ
7	ソフトバレーボール	川越町	川越町体育協会	川越町総合体育館
8	日本拳法	松阪市	三重県日本拳法連盟	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
9	パークゴルフ	東員町	三重県パークゴルフ協会連合会	東員町中部公園パークゴルフ場
10	ペタンク	松阪市	三重県ペタンク協会	嬉野グラウンド又は松ヶ崎公園グラウンド
11	ユニカール	尾鷲市	三重県ユニカール協会	尾鷲市体育文化会館
12	ラジオ体操	紀宝町	紀宝町体育協会	紀宝町深田運動場

※ウォークラリーは2町で実施

## 【会場地市町別】

	会場地 市町	実施予定競技	競技団体	競技会場予定施設
1	松阪市	健康体操	三重県健康体操連絡協議会	さんぎんアリーナ
		日本拳法	三重県日本拳法連盟	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
		ペタンク	三重県ペタンク協会	嬉野グラウンド又は松ヶ崎公園グラウンド
2	鈴鹿市	エアロビック	三重県エアロビック連盟	AGF鈴鹿体育館
3	尾鷲市	ウォーキング	三重県ウォーキング協会	三重県立熊野古道センター周辺
		ユニカール	三重県ユニカール協会	尾鷲市体育文化会館
4	伊賀市	キンボールスポーツ	三重県キンボールスポーツ連盟	三重県立ゆめドームうえの
5	東員町	パークゴルフ	三重県パークゴルフ協会連合会	東員町中部公園パークゴルフ場
6	川越町	ソフトバレーボール	川越町体育協会	川越町総合体育館
7	度会町	ウォークラリー	(一社)三重県レクリエーション協会	宮リバー度会パーク周辺
8	大紀町	カローリング	大紀町スポーツ推進委員協議会	大宮中学校・大宮小学校
9	御浜町	ウォークラリー	御浜町体育協会	御浜町内特設会場
10	紀宝町	ラジオ体操	紀宝町体育協会	紀宝町深田運動場

(留意事項) 開催準備を進めていくうえで、「実施予定競技」「競技団体」及び「競技会場予定施設」を変更する場合は、三重県準備委員会と協議し、決定するものとします。

## 第76回国民体育大会 輸送・交通基本計画

第76回国民体育大会輸送・交通基本方針に基づき、県、会場地市町、関係機関・団体等は相互に緊密な連携を図り、第76回国民体育大会（以下「大会」という。）の輸送・交通業務を円滑に推進する。

### 1 輸送・交通業務の基本的事項

#### (1) 輸送対象者

輸送の対象者は、大会に参加する選手・監督、役員、視察員、式典参加者その他関係者（以下「大会参加者」という。）及び観覧者とする。

#### (2) 実施期間

輸送・交通業務を行う期間は、原則として総合開会式の3日前から総合閉会式までとする。

ただし、総合開・閉会式のリハーサル等を実施する場合や、競技の特殊事情等から必要と認められる場合は、県又は会場地市町が別に期間を定める。

#### (3) 業務の範囲

輸送・交通業務の範囲は、県外参加者の輸送、総合開・閉会式の輸送、競技会場の輸送及びその他大会に直接関係する諸行事参加者等の輸送とする。

#### (4) 業務の実施

輸送・交通業務は、県及び会場地市町が関係機関・団体等の協力を得て、各会場周辺や宿泊地等の実情に応じて実施する。

### 2 県外参加者の輸送

#### (1) 輸送方法等

県外参加者の輸送は、各都道府県出発地と宿泊地の間とし、県は来県方法や輸送人数等を踏まえたうえで、必要に応じて輸送力の増強等を関係機関・団体等に要請する。

#### (2) 指定下車駅等

県は、会場地市町と協議のうえ、県外参加者の宿泊地の最寄り駅等を指定下車駅等とし、会場地市町は、必要に応じて指定下車駅等と宿舎の間の輸送、案内等を行う。

#### (3) 県外参加者輸送計画の策定

県は、輸送方法や指定下車駅等を考慮し、関係機関・団体等の協力を得て、必要に応じて県外参加者の輸送計画を策定する。

### 3 総合開・閉会式の輸送

#### (1) 輸送方法等

- ア 大会参加者の輸送については、原則として、(2)に定める指定集合地と総合開・閉会式会場の間を範囲とし、車両や発着時刻等を定めた計画輸送とする。ただし、報道関係者、視察員等についてはこの限りでない。
- イ 観覧者の輸送については、鉄道駅、駐車場等と総合開・閉会式会場の間を範囲とし、公共交通機関を最大限に活用するとともに、必要に応じてシャトルバスや臨時バス等を利用した輸送方法とする。

#### (2) 指定集合地

県は、大会参加者の人数や宿泊場所、輸送方法等を考慮し、会場地市町と協議のうえ、宿舎又は宿舎の近隣に輸送の起終点となる指定集合地を設定する。  
宿泊を伴わない大会参加者の輸送については、各団体の所属等を指定集合地とする。

#### (3) 輸送経路の設定

県は、輸送距離、所要時間及び道路交通事情等を考慮し、関係機関・団体等と協議のうえ、輸送経路を設定する。

#### (4) 総合開・閉会式輸送計画の策定

県は、関係機関・団体等の協力を得て、総合開・閉会式の輸送計画を策定する。

### 4 競技会場地の輸送

#### (1) 会場地市町輸送・交通業務の手引き（仮称）の作成

県は、会場地市町における輸送・交通業務を支援、推進するため、会場地市町輸送・交通業務の手引き（仮称）を作成する。

#### (2) 競技会場地輸送計画の策定

会場地市町は、会場地市町輸送・交通業務の手引き（仮称）を参考に、必要に応じて競技会場地における輸送計画を策定する。

なお、同一の競技が2市町以上の会場地で行われる場合は、関係市町が協議する。

### 5 車両等及び駐車場の確保

#### (1) バス、タクシー等による輸送力の確保

原則として、総合開・閉会式については県が、競技会については会場地市町が、それぞれ関係機関・団体等の協力を得て、必要なバス、タクシー等の車両確保に努める。

なお、バスについては、県が、各競技会場地の輸送にかかる台数を把握し、会場地市町と協議のうえ、必要に応じて確保に向けた調整を行う。



## (2) 公共交通機関による輸送力の確保

総合開・閉会式については県が、競技会については会場地市町が、鉄道や路線バスの増発を要請するなど関係機関・団体等の協力を得て、必要な輸送力の確保に努める。

## (3) 駐車場の確保

総合開・閉会式については県が、競技会については会場地市町が、それぞれの会場周辺の道路交通事情や、大会参加者及び観覧者の輸送にかかる車両台数等を考慮し、関係機関・団体等の協力を得て、駐車場の確保に努める。

遠隔となる駐車場については、必要に応じてシャトルバスや臨時バス等の措置を講じ、円滑な輸送の確保に努める。

## 6 交通安全対策

### (1) 対策の実施

県及び会場地市町は、各会場周辺における交通の安全確保と円滑な輸送を図るため、関係機関・団体等の協力を得て、駐車場及びバス乗降場等における歩行者及び車両の誘導や、周辺道路の交通規制等、必要な交通対策の措置を講じる。

### (2) 対策の周知

県及び会場地市町は、交通安全対策の実施にあたり、各会場周辺の住民や企業等への広報活動により協力を要請するとともに、案内標識等の設置や各種広報媒体の積極的な活用を努める。

## 7 輸送本部の設置

県及び会場地市町は、輸送・交通業務を円滑に遂行するため、必要に応じて輸送本部を設置する。

## 8 その他

本計画に定める事項のほか、輸送・交通業務に関して必要となる事項については、実施計画等に定める。

## 第 76 回国民体育大会 医事・衛生基本方針

第 76 回国民体育大会に参加する選手、監督、役員、視察員、報道及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の医事・衛生については、大会参加者等が清潔で快適な環境のもとで十分な活躍と観覧等ができるよう、次の方針に基づき実施する。

### 1 医療救護

大会参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、医療救護体制を整えるとともに、周知に努める。

### 2 防疫

大会参加者等の感染症の発生を予防するため、防疫体制を整えるとともに、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の向上に努める。

### 3 食品衛生

大会参加者等の食の安全・安心を確保するため、食品関係施設等の衛生管理体制を整えるとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の向上に努める。

### 4 環境衛生

大会参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、廃棄物の適正処理、各会場及びその周辺の美化等に取り組むとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の向上に努める。

## 第 76 回国民体育大会 医事・衛生基本計画

第 76 回国民体育大会医事・衛生基本方針に基づき、県、会場地市町及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、次の医事・衛生に関する業務を進めることとする。

### 1 医療救護対策

#### (1) 医療救護体制の整備

救護所の設置、応急処置の実施及び移送に必要な医療機関の確保等を行い、医療救護体制を整える。

#### (2) 医療救護体制の周知

広報等を通じ、傷病発生時の患者への対応が適正に行われるよう、医療救護体制の周知に努める。

### 2 防疫対策

#### (1) 防疫体制の整備

感染症患者発生時の緊急連絡体制の構築等を行い、防疫体制を整える。

#### (2) 防疫に関する啓発

広報や講習等を通じ、防疫に関する正しい知識の普及及び意識のより一層の向上に努める。

### 3 食品衛生対策

#### (1) 衛生管理体制の整備

食品関係施設等を対象に必要な応じて監視指導等を行い、衛生管理体制を整える。

#### (2) 食品衛生に関する啓発

広報や講習等を通じ、食品衛生に関する正しい知識の普及及び意識のより一層の向上に努める。

#### 4 環境衛生対策

##### (1) 廃棄物の適正処理

総合開・閉会式会場、競技・練習会場等における廃棄物の発生抑制に努める。分別収集を徹底し、可能な限りリサイクルを行うとともに、リサイクルできない廃棄物については適正な処理を行う。

##### (2) 会場及びその周辺の美化

総合開・閉会式会場、競技・練習会場及びその周辺等の清掃活動を行い、衛生活化の向上に努める。

##### (3) 環境衛生に関する啓発

広報等を通じ、環境衛生に関する正しい知識の普及及び意識の一層の向上に努める。

#### 5 その他

上記のほか、医事・衛生に関して必要な業務については、要項等を定め推進する。

第 76 回国民体育大会 デモンストレーションスポーツ  
実施競技選択及び会場地市町第二次選定 (案)

## 【実施予定競技別】

	実施予定競技	会場地市町	競技団体	競技会場予定施設
1	ウォークラリー	津市	津市スポーツ・レクリエーション協会	津市一身田町周辺
2	かるた競技	明和町	三重県かるた協会	いつきのみや地域交流センターほか
3	クップ	尾鷲市	三重県クップ協会	三重県立熊野古道センターほか
4	3B体操	津市	(公社) 日本3B体操協会 三重県支部	サオリーナ
5	シーカヤック	志摩市	三重県カヌー協会	次郎六郎海岸
6	スタンドアップパドルボード	志摩市	三重県カヌー協会	次郎六郎海岸
7	スポーツ健康吹き矢	玉城町	たまき文化スポーツクラブ	玉城町保健福祉会館
8	スポーツチャンバラ	木曽岬町	三重県スポーツチャンバラ協会	木曽岬町体育館
9	スポーツ吹矢	津市	三重県スポーツ吹矢協会	津市久居体育館
10	チベットヨガ	玉城町	たまき文化スポーツクラブ	玉城町中央公民館
11	ディスクゴルフ	菰野町	三重県フライングディスク協会	三重県民の森
12	ビーチボールバレー	南伊勢町	南伊勢町スポーツ推進委員会	南勢中学校体育館

## 【会場地市町別】

	会場地市町	実施予定競技	競技団体	競技会場予定施設
1	津市	ウォークラリー	津市スポーツ・レクリエーション協会	津市一身田町周辺
		3B体操	(公社) 日本3B体操協会 三重県支部	サオリーナ
		スポーツ吹矢	三重県スポーツ吹矢協会	津市久居体育館
2	尾鷲市	クップ	三重県クップ協会	三重県立熊野古道センターほか
3	志摩市	シーカヤック	三重県カヌー協会	次郎六郎海岸
		スタンドアップパドルボード		
4	木曽岬町	スポーツチャンバラ	三重県スポーツチャンバラ協会	木曽岬町体育館
5	菰野町	ディスクゴルフ	三重県フライングディスク協会	三重県民の森
6	明和町	かるた競技	三重県かるた協会	いつきのみや地域交流センターほか
7	玉城町	スポーツ健康吹き矢	たまき文化スポーツクラブ	玉城町保健福祉会館
		チベットヨガ		玉城町中央公民館
8	南伊勢町	ビーチボールバレー	南伊勢町スポーツ推進委員会	南勢中学校体育館

(留意事項) 開催準備を進めていくうえで、「実施予定競技」「競技団体」及び「競技会場予定施設」を変更する場合は、三重県準備委員会と協議し、決定するものとします。

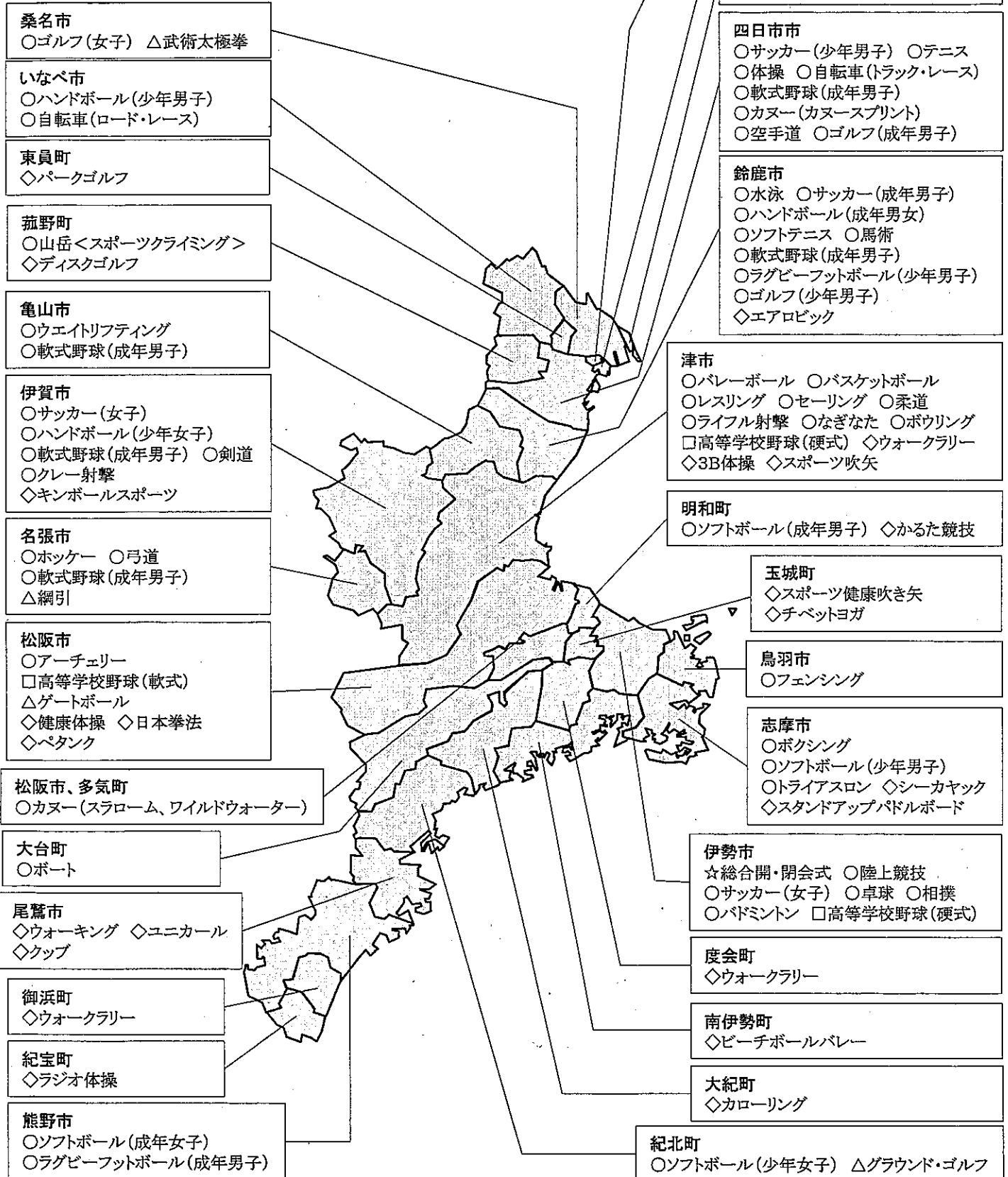
# 会場地市町選定状況と選定(案)

(平成29年7月31日現在)

## 【これまでの会場地市町選定状況】

- ☆:総合開・閉会式・・・1市 ○:正式競技・・・18市町 37競技
- :特別競技・・・3市 1競技 △:公開競技・・・5市町 5競技
- ◇:デモンストレーションスポーツ・・・17市町 23競技

【注】競技名の後の( )は、全種別以外の種別又は種目名



## 第 76 回国民体育大会 募金・企業協賛基本方針（案）

第 76 回国民体育大会（以下「大会」という。）における募金・企業協賛は、第 76 回国民体育大会開催基本方針に基づき、県民力を結集した大会の実現と開催機運の醸成を図るため、広く県民、企業、各種団体等の理解と協力を得て、次のとおり実施する。

### 1 募金

県民運動や国体の競技力の向上等を支えていただくため、県内外の個人、企業、各種団体等を対象として、寄附金を募るものとする。

### 2 企業協賛

広報活動や大会の準備・運営等を支えていただくため、県内外の企業や各種団体等を対象として、協賛金及び役務、物品等を募るものとする。

### 3 募集開始時期

平成 30 年 8 月とする。

## 第 76 回国民体育大会 イメージソングの選定（案）



### 最優秀作品候補

## 未来に響け

### 《選定理由》

「未来に響け」は、スポーツのさわやかさとそれを応援する絆、三重の風景をイメージし、そこでみんなが応援している様子を描いた楽曲です。

サビの「とこわか はばたけ」が印象に残り、覚えやすく、幅広く親しみを持っていただけると認められることから、本作品を最優秀賞候補に選定しました。

### 《作者》

京都府長岡京市 おくの 奥野 かずのり 和憲 さん（自営業）



## 三重とこわか国体イメージソング(案) 歌詞

## 「未来に響け」

あふれる笑顔 太陽のように 燃える熱い思い  
競い合うゲーム 爽やかな 風が包む

繋がる 心と絆 さあ 一つになれ

とこわか はばたけ がんばれ フルパワー  
あなたまで みんなの エールが届く  
ときめき かがやき 勇気と希望  
未来に 響け

みんなで支え合い いつまでも若く元気であるよ  
力合わせて 作り上げるよ 素敵なゲーム

青い海と 高い空の 景色が 待ってるよ

とこわか はばたけ がんばれ フルパワー  
あなたまで みんなの エールが届く  
ときめき かがやき 勇気と希望  
未来に 響け

一人じゃないよ 手と手をとって  
声を出して イェーイ

とこわか はばたけ がんばれ フルパワー  
あなたまで みんなの エールが届く  
ときめき かがやき 勇気と希望  
未来に 響け

とこわか はばたけ がんばれ フルパワー  
あなたまで みんなの エールが届く  
ときめき かがやき 勇気と希望  
未来に 響け

## 2020年オリンピック開催に伴う正式競技 (種目・種別)の追加について

### 1 経緯

(公財)日本体育協会(以下「日体協」という。)は、平成26年6月に「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」を定め、オリンピックの実施競技・種目で国体において未実施の競技・種目・種別を、オリンピック開催に伴う国体への導入対象競技として選定し、導入条件を充たしたものから、段階的に国体の正式競技として実施することとしました。

### 2 第76回国民体育大会(三重とこわか国体)における正式競技導入対象競技

平成29年6月16日に開催された日体協の国民体育大会委員会において、第76回国民体育大会(三重とこわか国体)における正式競技導入対象競技(種目・種別)が、以下のとおり選定されました。

競 技	種目等	種 別
水泳	水球	女子(成年少年共通)
	オープンウォータースイミング	男子・女子(成年少年共通)
ボクシング		成年女子
バレーボール	ビーチバレーボール	男子・女子(成年少年共通)
体操	トランポリン	男子・女子(成年少年共通)
レスリング		女子(成年少年共通)
ウエイトリフティング		女子(成年少年共通)
自転車	トラック・ロード	女子(成年少年共通)
ラグビーフットボール	7人制	女子(成年少年共通)

### 3 導入対象競技の会場地市町の選定

導入対象競技の会場地市町の選定にあたっては、「第76回国民体育大会 会場地市町選定基本方針」及び「同選定基準」に基づき、次の(1)～(3)を基準として進めます。

- (1) 市町と競技団体との意向が合致していること。
- (2) 施設、交通、宿泊など実際の運営に必要な環境が整っており、開催が可能であると見込まれること。
- (3) 競合市町がないこと。

なお、日体協の国民体育大会開催基準要項に基づき、まずは同一競技開催市町と調整を進めることとします。

### 4 今後の対応

会場地市町が選定された競技については、平成30年7月開催予定の日体協の理事会で三重とこわか国体の正式競技として決定されます。

このため、市町及び関係競技団体と連携し、導入対象競技の会場地市町の選定を進めていきます。

## 第 76 回 国民体育大会 大会会期について

国民体育大会については、(公財)日本体育協会(以下「日体協」という。)の国民体育大会開催基準要項において、9月中旬から10月中旬までの11日間以内で開催することと定められています。

また、開催県は開催4年前に大会会期案を3案、日体協に提出することとなっています。

平成28年7月に県庁内各部署に、9月には市町及び競技団体等に対し、平成33年9月中旬から10月中旬の大規模イベント等の調査を行い、その結果を踏まえ、三重県案を検討しました。その後、平成29年3月27日に開催された第9回常任委員会において次のとおり三重県案3案を報告し、6月15日に日体協に提出しました。

## 1 三重県案

第1案	平成33年	9月	25日(土)	～	10月	5日(火)
第2案	平成33年	9月	26日(日)	～	10月	6日(水)
第3案	平成33年	10月	2日(土)	～	10月	12日(火)

(希望順位は第1案～第3案の順)

## 2 三重県案作成の留意事項

三重県案の検討にあたっては、主に次の点について留意しました。

- (1) 日体協に対して3案の提出が必要であることから、3案を作成すること
- (2) 皇室行事のある9月23日(秋季皇霊祭、秋季神殿祭)、10月17日(神嘗祭)  
10月20日(皇后陛下誕生日)を会期に含めないこと
- (3) 国体のブロック予選終了後、総合開会式までの準備に必要な期間を確保すること
- (4) 大規模イベント等の調査結果を踏まえ、イベント・大会等が少ない期間を優先すること

9月											10月																							
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
			(皇霊祭・神殿祭) 秋分の日		← 第1案 →																												(皇后陛下誕生日)	
					← 第2案 →																													
												← 第3案 →																						
敬老の日																						体育の日						(神嘗祭)						

## 3 今後の予定

今回提出した三重県案3案をもとに、日体協が調整を行い、平成30年7月開催予定の日体協理事会にて第76回国民体育大会(三重とこわか国体)の大会会期が決定されます。

## 国民体育大会の名称変更の検討について

### 1 経緯

(公財)日本体育協会(以下「日体協」という。)は、平成25年3月に、21世紀の国体のあり方やそれに向けた具体的な取組等についてまとめた「21世紀の国体像」を策定し、その中の取組の一つとして、国民体育大会の名称変更を継続的に検討すべき課題として位置づけました。

また、国会議員で構成されているスポーツ議員連盟において、国民の祝日である「体育の日」を「スポーツの日」に改正することが検討されています。

こうしたことを踏まえ、スポーツ基本法に規定されている「国民体育大会」と「日本体育協会」についても、名称変更に向けた検討が進められています。

### 2 名称変更に関する日体協の方針

平成29年6月23日に開催された日体協評議員会において、国民体育大会の名称変更に関する方針が以下のとおり決定されました。

#### ＜国民体育大会の名称変更に関する日体協の方針＞

##### (1) 変更後の名称案

国民スポーツ大会

※最終的には「スポーツ基本法」の改正に準じて対応する。

##### (2) 今後の対応

国会での法改正を経た後に、日体協の定款および関連規程等の改定をもって、新たな大会名称への変更を行う。

なお、日本体育協会の名称については、平成30年4月1日に「日本スポーツ協会」に変更することが決定されました。

### 3 今後の対応方針

国体の名称変更は、開催準備に多大な影響を与えることから、これまで三重県では、スポーツ庁や日体協に対し、慎重に検討するよう求めるとともに、引き続き、国体の名称を使用できるよう要望してきたところです。

このような中、上記のとおり日体協の方針が決定されたことから、今後は、日体協や国の法改正の動向を注視するとともに、開催内定県等と情報共有を図っていきます。

# 審議事項



## 平成28年度事業報告(案)

## 1 会議の開催等

月 日	開催準備経過等	主 な 内 容
5月10日	第7回市町連絡調整会議 及び第6回競技団体連絡 調整会議の開催	「第76回国民体育大会の会期」、「マスコット展 開形に関するデザイン確認依頼」、「施設及び競 技用具に関する調査」等について説明しました。
6月1日	開催申請書の提出	県体育協会会長、県知事、県教育委員会の連名 により、日本体育協会、文部科学省に開催申請 書を提出しました。
7月20日	本県開催の内定	日本体育協会 理事会において、平成33年第76 回国民体育大会の本県開催が内定されました。
7月21日	第5回広報・県民運動専門 委員会の開催	「マスコットキャラクター愛称の入選作品」 (案) について審議しました。
7月22日	第1回宿泊専門委員会の 開催	「宿泊基本方針」(案)、「宿泊基本計画」(案) について審議しました。
8月2日	第8回常任委員会の開催	「宿泊基本方針」、「宿泊基本計画」、「マス コットキャラクター愛称の選定」について審議 し、決定しました。
8月2日	第5回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支 予算」について審議し、決定しました。
12月22日	第6回広報・県民運動専門 委員会の開催	「イメージソングの制作手続きについて」(案)、 「三重とこわか国体イメージソング募集要項」 (案) 等について審議しました。
2月1日	第8回市町連絡調整会議 及び第7回競技団体連絡 調整会議の開催	「第76回国民体育大会の会期の決定に向けた取 組」、「競技会の開催に向けた取組」、「宿泊及び 輸送に関する取組」等について説明しました。
2月17日	第8回総務企画専門委員 会の開催	「大会会期案」、「デモンストレーションスポー ツ実施競技選択及び会場地市町第一次選定候 補」(案) について審議しました。
3月1日	第2回輸送・交通専門委員 会の開催	「輸送・交通基本計画」(案) について審議しま した。
3月3日	第1回医事・衛生専門委員 会の開催	「医事・衛生基本方針」(案)、「医事・衛生基本 計画」(案) について審議しました。
3月27日	第9回常任委員会の開催	「デモンストレーションスポーツ実施競技選択 及び会場地市町第一次選定」、「輸送・交通基 本計画」、「医事・衛生基本方針」、「医事・ 衛生基本計画」について審議し、決定しました。

## 2 国民体育大会の開催の内定

- (1) 開催申請書を（公財）日本体育協会及び文部科学省に提出（平成28年6月1日）
- (2) 開催内定書を（公財）日本体育協会から受領（平成28年7月20日）

## 3 大会の会期

- (1) 市町及び競技団体等への大規模イベント等の調査
- (2) 三重県案3案を第8回総務企画専門委員会で審議（平成29年2月17日）
- (3) 三重県案3案を第9回常任委員会で報告（平成29年3月27日）

## 4 マスコットキャラクターの愛称の決定

- (1) 第8回常任委員会で審議し、「どこまる」に決定（平成28年8月2日）

## 5 イメージソングの募集

- (1) イメージソング募集要項及びイメージソング審査要領を第6回広報・県民運動専門委員会で審議・決定（平成28年12月22日）
- (2) イメージソングの募集（平成29年2月1日～平成29年4月28日）

## 6 国体開催に向けた広報

- (1) 「どこまる」の着ぐるみ及び展開形の作成、活用
  - ・各種イベント、県庁見学等での活用
- (2) 広報ボランティアの募集、活動の開始
  - ・各種イベント、県庁見学でのPR活動
  - ・広報ボランティアユニフォームの製作
- (3) 広報チラシや缶バッジ等の製作、配布
  - ・各種イベント等での配布
- (4) スポーツ体感グッズの制作、活用
  - ・各種イベントで体感コーナーの設置、活用
- (5) 県庁見学の小学生へのPR

## 7 デモンストレーションスポーツの募集及び選定

- (1) 第一次募集（平成28年3月1日～平成28年11月30日）
  - ・10市町12競技の応募
- (2) 第二次募集（平成28年12月1日～平成29年5月31日）
- (3) 実施競技選択及び会場地市町第一次選定を第9回常任委員会で審議・決定（平成29年3月27日）



## 8 競技役員の養成

### (1) 競技役員養成に要する経費を助成

- ・(公財)三重県体育協会への委託により、県競技団体の資格取得等に要する経費に対して助成金を交付

### (2) 競技役員養成に関して競技団体と調整

## 9 輸送・交通

### (1) 輸送・交通基本計画を第9回常任委員会で審議・決定(平成29年3月27日)

### (2) 輸送・交通基礎調査の実施(平成28年9月～平成29年3月)

## 10 宿泊

### (1) 宿泊基本方針及び基本計画を第8回常任委員会で審議・決定(平成28年8月2日)

### (2) 第1回宿舍に関する調査の実施(平成28年9月～10月)

## 11 先催県等との連携

### (1) 希望郷いわて国体視察(平成28年10月1日～10月11日)

### (2) 国体開催地連絡協議会(岩手県)(平成28年11月)

### (3) 平成28年度第1回国体開催県検討会議(鹿児島県)(平成28年7月)

### (4) 平成28年度第2回国体開催県検討会議(三重県)(平成29年2月)

## 12 関係機関・団体との調整

開催準備を円滑に進めるため、市町並びに競技団体との連携強化を図ることを目的とした連絡調整会議等の開催(平成28年5月10日、平成29年2月1日)

## 平成28年度収支決算（案）

## 1 収入の部

(単位：円)

科目	当初 予算額	予算現額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	備考
負担金	45,567,000	40,324,000	39,591,596	732,404	三重県負担金
計	45,567,000	40,324,000	39,591,596	732,404	

## 2 支出の部

(単位：円)

科目	当初 予算額	予算現額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	備考
事業費	43,773,000	37,775,973	37,043,569	732,404	総会等会議開催費、マスコットキャラクター関連費、広報・県民運動関連費、競技役員養成事業費、輸送・交通調査等
事務局費	1,794,000	2,548,027	2,548,027	0	事務局運営経費
計	45,567,000	40,324,000	39,591,596	732,404	


収入の部 合計 39,591,596円


支出の部 合計 39,591,596円


差引 0円

## 監 査 報 告

第76回国民体育大会三重県準備委員会会則第17条に基づき、平成28年度における収支決算に関する証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

平成29年 6月 9日 監 事 三重県会計管理者  
城本 曉 

平成29年 6月 22日 監 事 伊勢市会計管理者  
森井 啓 

平成29年 6月 23日 監 事 民安町会計管理者  
佐藤 州弘 

第76回国民体育大会三重県準備委員会  
会 長 鈴 木 英 敬 様

## 平成29年度事業計画（案）

第76回国民体育大会の開催準備を推進するため、次の事業を行う。

**1 開催準備の主要業務**

- (1) 各種基本方針、基本計画の策定に関する事
- (2) 総合視察の準備に関する事
- (3) 募金・企業協賛に関する事
- (4) 広報・県民運動の推進に関する事
- (5) 大会イメージソング及びダンスの制作、普及に関する事
- (6) 会場地市町選定に関する事
- (7) 競技別会期の検討に関する事
- (8) 競技役員等の編成、養成及び競技用具の準備に関する事
- (9) 式典に関する事
- (10) 総合開・閉会式会場の整備計画に関する事
- (11) 輸送・交通に関する事
- (12) 宿泊に関する事
- (13) 医事・衛生に関する事
- (14) 警備・消防に関する事
- (15) 第21回全国障害者スポーツ大会三重県準備委員会との連携に関する事
- (16) 上記以外の開催準備に関する事

**2 会議の開催**

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

**3 先催県等との連携**

- (1) 愛顔つなぐえひめ国体視察
- (2) 国体開催地連絡協議会（愛媛県）
- (3) 開催県検討会議（三重県、栃木県）

**4 関係機関・団体との調整**

- (1) 市町並びに競技団体連絡調整会議の開催
- (2) 自衛隊派遣調整

**5 各種調査の実施**

- (1) 総合開・閉会式調査
- (2) 競技役員編成・養成調査
- (3) 競技用具整備調査
- (4) 競技施設整備計画調査
- (5) 輸送・交通調査
- (6) 配宿調査

## 平成29年度収支予算（案）

## 1 収入の部

(単位：千円)

科目	予算額	概要
負担金	45,333	三重県負担金
合計	45,333	

## 2 支出の部

(単位：千円)

科目	予算額	概要
事業費	43,872	総会等会議開催費、イメージソング関連費、広報・県民運動関連費、競技役員養成事業費、輸送・交通調査、総合開・閉会式基本計画策定等
事務局費	1,461	事務局運営経費
合計	45,333	



# 參考資料





## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 会則

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、第76回国民体育大会三重県準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 準備委員会は、第76回国民体育大会（冬季大会を除く。以下「大会」という。）を三重県において開催するために必要な準備を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること
- (2) 大会における実施競技及び会場市町に関すること
- (3) 大会開催に必要な施設・設備の整備計画に関すること
- (4) 大会開催及び準備のための経費に関すること
- (5) 公益財団法人日本体育協会、文部科学省、関係競技団体、その他関係行政機関及び関係団体との連絡調整に関すること
- (6) その他大会を開催するために必要な準備に関すること

## 第2章 組織

(組織)

第4条 準備委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 県及び市町を代表する者
- (2) 県及び市町の議会を代表する者
- (3) 関係競技団体、その他関係機関・団体を代表する者及び役職員
- (4) 学識経験を有する者
- (5) その他大会開催の準備に関係のある者

3 会長及び委員は、無報酬とする。

(役員)

第5条 準備委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 5名以上10名以内
- (3) 常任委員 30名以上50名以内
- (4) 監事 若干名

(役員を選任)

第6条 会長は、三重県知事をもって充てる。

- 2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が委嘱する。
- 3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が定めた順序で、その職務を代理する。
- 3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第6項に掲げる事項を審議する。
- 4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから準備委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合において、その委員等は、辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

- 2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。
- 3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長が重要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。
- 4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。
- 5 顧問及び参与の任期等は、前条の規定を準用する。
- 6 顧問及び参与は、無報酬とする。

### 第3章 会議

(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次の会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

- 2 総会は、会長が招集する。
- 3 総会の議長は、会長が指名する。

- 4 総会は、次の事項について審議し、決定する。
  - (1) 会則の制定及び改廃に関する事
  - (2) 大会開催基本方針に関する事
  - (3) 事業計画及び事業報告に関する事
  - (4) 予算及び決算に関する事
  - (5) 常任委員会に委任する事項に関する事
  - (6) その他重要な事項に関する事
- 5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 総会の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

#### （常任委員会）

第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、副会長をもって充てる。
- 4 常任委員会は、委員長が招集する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長が指名する。
- 6 常任委員会は、次の事項について審議し、決定する。
  - (1) 総会から委任された事項に関する事
  - (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託事項及び委任事項に関する事
  - (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関する事
  - (4) その他、委員長が必要と認める事項に関する事
- 7 常任委員会は、前項の規定により審議し、決定した内容を、必要に応じて次の総会に報告する。
- 8 前条第5項及び第6項の規定は、常任委員会において準用する。
- 9 第8条の規定は、常任委員において準用する。

#### （専門委員会）

第13条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から付託された事項について調査審議し、その結果を常任委員会に報告しなければならない。
- 3 専門委員会は、常任委員会から委任された事項について審議決定し、その結果を必要に応じて常任委員会に報告する。
- 4 第8条の規定は、専門委員において準用する。
- 5 専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮って会長が別に定める。

## 第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

## 第5章 事務局

(事務局)

第15条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

## 第6章 会計

(経費)

第16条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第17条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算については、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度等)

第18条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 準備委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

## 第7章 補則

(委任)

第19条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

第20条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

## 附則

1 この会則は、平成24年8月31日から施行する。

2 準備委員会の平成24年度における会計年度は、第18条第1項の規定にかかわらず、準備委員会が設立された日から始まり、平成25年3月31日までとする。

## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 組織構成

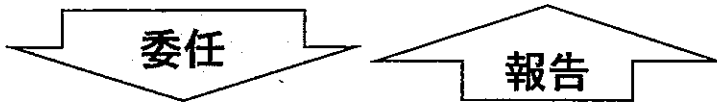
### 総会（会長、副会長、委員、参与、顧問、監事）

○総会の主な審議、決定事項(会則第11条)

- ・会則の制定及び改廃に関すること
- ・大会開催基本方針に関すること
- ・事業計画及び事業報告に関すること
- ・予算及び決算に関すること
- ・常任委員会に委任する事項に関すること

○主な委任事項

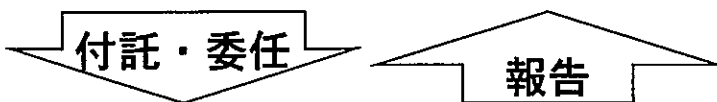
- ・各種方針及び計画の策定関係
- ・会場地市町及び競技施設の選定関係
- ・県と会場地市町の業務分担及び経費負担区分関係
- ・競技施設の整備関係
- ・競技役員の編成、養成関係 等



### 常任委員会（委員長、副委員長、常任委員）

○常任委員会の主な審議、決定事項(会則第12条)

- ・総会から委任された事項に関すること
- ・専門委員会の設置並びに専門委員会への付託事項及び委任事項に関すること
- ・総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること

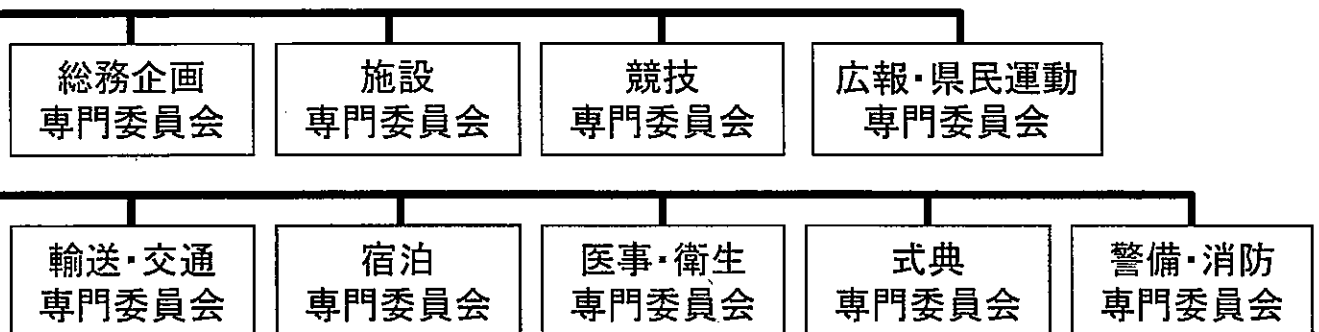


### 専門委員会（委員長、副委員長、委員）

○専門委員会における審議、調査内容(会則第13条)

- ・常任委員会から付託された事項について調査審議し、常任委員会に報告
- ・常任委員会から委任された事項について審議決定し、必要に応じて常任委員会に報告

※準備の進捗に合わせて、各専門委員会を設置



## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 名簿

会長：1名、委員：185名、監事 3名

顧問：10名、参与：78名

計 277名

【会長：1名】

平成29年7月31日現在

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県(行政)関係	三重県知事	鈴木 英敬

【委員：185名】

(敬称略、順不同)

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県議会関係	三重県議会議長	舟橋 裕幸
県議会関係	三重県議会総務地域連携常任委員会委員長	下野 幸助
県議会関係	三重県議会スポーツ振興議員連盟会長	西場 信行
市町関係	三重県市長会会長	前葉 泰幸
市町関係	三重県町村会会長	谷口 友見
市町関係	津市長	前葉 泰幸
市町関係	四日市市長	森 智広
市町関係	伊勢市長	鈴木 健一
市町関係	松阪市長	竹上 真人
市町関係	桑名市長	伊藤 徳宇
市町関係	鈴鹿市長	末松 則子
市町関係	名張市長	亀井 利克
市町関係	尾鷲市長	加藤 千速
市町関係	亀山市長	櫻井 義之
市町関係	鳥羽市長	中村 欣一郎
市町関係	熊野市長	河上 敢二
市町関係	いなべ市長	日沖 靖
市町関係	志摩市長	竹内 千尋
市町関係	伊賀市長	岡本 栄
市町関係	木曾岬町長	加藤 隆
市町関係	東員町長	水谷 俊郎
市町関係	菰野町長	石原 正敬
市町関係	朝日町長	栗田 康昭
市町関係	川越町長	城田 政幸
市町関係	多気町長	久保 行央
市町関係	明和町長	中井 幸充
市町関係	大台町長	尾上 武義
市町関係	玉城町長	辻村 修一

市町関係	度会町長	中村 順一
市町関係	大紀町長	谷口 友見
市町関係	南伊勢町長	小山 巧
市町関係	紀北町長	尾上 壽一
市町関係	御浜町長	大畑 覚
市町関係	紀宝町長	西田 健
市町関係	三重県市議会議長会会長	細矢 一宏
市町関係	三重県町村議会議長会会長	飯田 徳昭
市町関係	三重県市町教育委員会連絡協議会会長	上島 和久
市町関係	三重県市町教育長会会長	上島 和久
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会会長	竹林 武一
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会副会長	藤澤 幸三
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会副会長	向井 弘光
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会副会長	濱田 典保
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会副会長	武田 美保
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会副会長	上田 豪
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会副会長	梅村 光久
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会理事長	東地 隆司
スポーツ関係	一般財団法人 三重陸上競技協会会長	田村 憲久
スポーツ関係	一般社団法人 三重県水泳連盟会長	島 正明
スポーツ関係	一般社団法人 三重県サッカー協会会長	岩間 弘
スポーツ関係	三重県テニス協会会長	川崎 二郎
スポーツ関係	三重県ボート協会会長	西場 信行
スポーツ関係	三重県ホッケー協会会長	芳野 正英
スポーツ関係	三重県ボクシング連盟会長	中川 正美
スポーツ関係	三重県バレーボール協会会長	中川 正春
スポーツ関係	三重県体操協会会長	中西 長男
スポーツ関係	三重県バスケットボール協会会長	八木 秀行
スポーツ関係	三重県レスリング協会会長	宇野 長好
スポーツ関係	三重県ヨット連盟会長	原田 佳幸
スポーツ関係	三重県ウエイトリフティング協会会長	柳瀬 仁
スポーツ関係	三重県ハンドボール協会会長	島田 佳和
スポーツ関係	三重県自転車競技連盟会長	西場 信行
スポーツ関係	三重県ソフトテニス連盟会長	北村 和久
スポーツ関係	三重県卓球協会会長	杉本 熊野
スポーツ関係	三重県相撲連盟会長	加古 昭次
スポーツ関係	三重県馬術連盟会長	石垣 征生
スポーツ関係	三重県フェンシング協会会長	野村 保夫
スポーツ関係	三重県柔道協会会長	平賀 秀忠

スポーツ関係	三重県ソフトボール協会会長	太田 正隆
スポーツ関係	三重県バドミントン協会会長	金森 正
スポーツ関係	三重県弓道連盟会長	伊藤 徹
スポーツ関係	三重県ライフル射撃協会会長	中村 孝夫
スポーツ関係	三重県剣道連盟会長	川口 正人
スポーツ関係	三重県ラグビーフットボール協会会長	中岡 昭彦
スポーツ関係	三重県山岳連盟会長	亀井 正明
スポーツ関係	三重県カヌー協会会長	吉川 ゆうみ
スポーツ関係	三重県アーチェリー協会会長	後藤 健一
スポーツ関係	三重県空手道連盟会長	奈須 和夫
スポーツ関係	三重県クレ射撃協会理事長・副会長	木村 賢二
スポーツ関係	三重県ボウリング連盟理事長	田口 隆夫
スポーツ関係	三重県ゴルフ連盟会長	谷川 憲三
スポーツ関係	三重県軟式野球連盟会長	野崎 洋
スポーツ関係	三重県銃剣道連盟会長	田村 憲久
スポーツ関係	三重県なぎなた連盟会長	芝 博一
スポーツ関係	三重県トライアスロン協会会長	山田 康晴
スポーツ関係	一般財団法人 三重県高等学校野球連盟会長	和田 健治
スポーツ関係	三重県綱引連盟会長	濱田 典保
スポーツ関係	三重県武術太極拳連盟会長	舟橋 裕幸
スポーツ関係	三重県パワーリフティング協会理事長	三橋 信之
スポーツ関係	三重県ゲートボール連合会会長	宮田 淳
スポーツ関係	三重県グラウンド・ゴルフ協会会長	堀田 正義
スポーツ関係	三重県スポーツ推進委員協議会会長	馬場 宏
スポーツ関係	三重県スポーツ少年団本部長	奥野 勇
スポーツ関係	SC みえネットワーク会長	田中 栄一
スポーツ関係	一般社団法人 三重県レクリエーション協会会長	大川 吉崇
福祉・障がいスポーツ関係	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会会長	井村 正勝
福祉・障がいスポーツ関係	三重県障がい者スポーツ協会会長	前田 浩司
福祉・障がいスポーツ関係	社会福祉法人 三重県厚生事業団理事長	梶田 郁郎
学校関係	三重県小中学校長会会長	川合 陽一郎
学校関係	三重県立学校長会会長	和田 欣子
学校関係	三重県中学校体育連盟会長	中西 裕之
学校関係	三重県高等学校体育連盟会長	辻 昭司
学校関係	国立大学法人 三重大学学長	駒田 美弘
学校関係	公立大学法人 三重県立看護大学理事長・学長	菱沼 典子
学校関係	学校法人暁学園 四日市大学学長	岩崎 恭典
学校関係	学校法人皇學館 皇學館大学学長	清水 潔
学校関係	学校法人享栄学園 鈴鹿大学学長	市野 聖治



学校関係	鈴鹿医療科学大学学長	豊田 長康
学校関係	四日市看護医療大学学長	丸山 康人
学校関係	津市立三重短期大学学長	東福寺 一郎
学校関係	学校法人高田学苑 高田短期大学学長	栗原 廣海
学校関係	学校法人享栄学園 鈴鹿大学短期大学部学長	市野 聖治
学校関係	学校法人大橋学園 コマニテク短期大学学長	大橋 正行
学校関係	独立行政法人国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校校長	新田 保次
学校関係	独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校校長	林 祐司
学校関係	学校法人近畿大学 近畿大学工業高等専門学校校長	村田 圭治
学校関係	三重県私学総連合会会長	梅村 光久
学校関係	三重県PTA連合会会長	松山 安利
学校関係	三重県高等学校PTA連合会会長	細渕 修
産業・経済関係	三重県商工会議所連合会会長	岡本 直之
産業・経済関係	三重県商工会連合会会長	藤田 正美
産業・経済関係	三重県中小企業団体中央会会長	佐久間 裕之
産業・経済関係	三重県経営者協会会長	小倉 敏秀
産業・経済関係	中部経済同友会三重地区地域懇談会代表世話人	雲井 純
産業・経済関係	日本労働組合総連合会三重県連合会会長	吉川 秀治
産業・経済関係	公益社団法人 日本青年会議所東海地区 三重ブロック協議会会長	林 佳宏
産業・経済関係	三重県農業協同組合中央会会長	奥野 長衛
産業・経済関係	三重県漁業協同組合連合会代表理事会長	湯浅 雅人
産業・経済関係	三重県木材協同組合連合会理事長	野地 洋正
産業・経済関係	公益社団法人 三重県緑化推進協会会長	川喜田 久
産業・経済関係	三重県森林組合連合会代表理事会長	朝尾 高明
産業・経済関係	一般社団法人 三重県建設業協会会長	山下 晃
産業・経済関係	中部電力株式会社三重支店執行役員三重支店長	古田 真二
医療関係	公益社団法人 三重県医師会会長	青木 重孝
医療関係	一般社団法人 三重県病院協会理事長	濱田 正行
医療関係	公益社団法人 三重県看護協会会長	西宮 勝子
医療関係	公益社団法人 三重県歯科医師会会長	田所 泰
医療関係	一般社団法人 三重県薬剤師会会長	西井 政彦
医療関係	日本赤十字社三重県支部支部長	野呂 昭彦
宿泊・観光・衛生関係	公益社団法人 三重県観光連盟会長	雲井 敬
宿泊・観光・衛生関係	三重県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	木村 圭仁朗
宿泊・観光・衛生関係	一般社団法人 全国旅行業協会三重県支部支部長	小西 靖司
宿泊・観光・衛生関係	公益社団法人 三重県栄養士会会長	井後 福美

宿泊・観光・衛生関係	一般社団法人 三重県食品衛生協会会長	中井 重利
宿泊・観光・衛生関係	一般社団法人 三重県調理師連合会会長	伊藤 隆明
通信・運輸関係	公益社団法人 三重県バス協会会長	雲井 敬
通信・運輸関係	東海旅客鉄道株式会社三重支店支店長	堀 保彦
通信・運輸関係	近畿日本鉄道株式会社名古屋統括部 取締役常務執行役員名古屋統括部長	都司 尚
通信・運輸関係	一般社団法人 三重県タクシー協会会長	中島 嘉浩
通信・運輸関係	西日本電信電話株式会社三重支店支店長	大西 秀隆
通信・運輸関係	株式会社NTTドコモ東海支社三重支店支店長	家田 吉成
通信・運輸関係	KDDI 株式会社中部総支社理事中部総支社長	渡辺 道治
通信・運輸関係	ソフトバンク株式会社地域総務部部長	下 英章
交通・消防関係	中日本高速道路株式会社名古屋支社支社長	近藤 清久
交通・消防関係	一般財団法人 三重県交通安全協会会長	余野部 克治
交通・消防関係	三重県消防長会会長	坂倉 啓史
文化・社会団体等関係	一般財団法人 三重県老人クラブ連合会会長	西川 明正
文化・社会団体等関係	日本ボーイスカウト三重連盟理事長	山本 幹
文化・社会団体等関係	一般社団法人 ガールスカウト三重県連盟顧問	河口 和子
文化・社会団体等関係	三重県子ども会連合会会長	小野 欽市
文化・社会団体等関係	公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団理事長	太田 栄子
文化・社会団体等関係	三重県ボランティア連絡協議会会長	川瀬 みち代
文化・社会団体等関係	国際ロータリー第2630地区ガバナー	田山 雅敏
文化・社会団体等関係	ライオンズクラブ国際協会334-B地区 四日市みたきライオンズクラブ地区名誉顧問	中村 光宏
官・公署関係	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所所長	川村 謙一
官・公署関係	防衛省自衛隊三重地方協力本部本部長	鹿子島 洋
県（行政）関係	三重県スポーツ推進審議会会長	鶴原 清志
県（行政）関係	三重県副知事	渡邊 信一郎
県（行政）関係	三重県副知事	稲垣 清文
県（行政）関係	三重県危機管理統括監	服部 浩
県（行政）関係	三重県防災対策部長	福井 敏人
県（行政）関係	三重県戦略企画部長	西城 昭二
県（行政）関係	三重県総務部長	嶋田 宜浩
県（行政）関係	三重県健康福祉部長	田中 功
県（行政）関係	三重県環境生活部長	井戸畑 真之
県（行政）関係	三重県地域連携部長	鈴木 伸幸
県（行政）関係	三重県地域連携部スポーツ推進局長	村木 輝行
県（行政）関係	三重県地域連携部南部地域活性化局長	伊藤 久美子
県（行政）関係	三重県農林水産部長	岡村 昌和
県（行政）関係	三重県雇用経済部長	村上 亘

県（行政）関係	三重県雇用経済部観光局長	河口 瑞子
県（行政）関係	三重県県土整備部長	水谷 優兆
県（行政）関係	三重県企業庁長	山神 秀次
県（行政）関係	三重県病院事業庁長	長谷川 耕一
県（行政）関係	三重県教育委員会教育長	廣田 恵子
県（行政）関係	三重県警察本部長	難波 健太

【監事：3名】

（敬称略、順不同）

所属機関・団体・役職名	氏名
三重県会計管理者（出納局長）	城本 暁
市会計管理者（伊勢市会計管理者）	森井 啓
町会計管理者（紀宝町会計管理者）	佐藤 州弘

【顧問：10名】

（敬称略、順不同）

所属機関・団体・役職名	氏名
衆議院議員	岡田 克也
衆議院議員	川崎 二郎
衆議院議員	島田 佳和
衆議院議員	田村 憲久
衆議院議員	中川 正春
衆議院議員	中川 康洋
衆議院議員	松田 直久
衆議院議員	三ツ矢 憲生
参議院議員	芝 博一
参議院議員	吉川 ゆうみ

【参与：78名】

（敬称略、順不同）

所属機関・団体・役職名	氏名
三重県議会議員	青木 謙順
三重県議会議員	今井 智広
三重県議会議員	岡野 恵美
三重県議会議員	杉本 熊野
三重県議会議員	舟橋 裕幸
三重県議会議員	前田 剛志
三重県議会議員	前野 和美
三重県議会議員	石田 成生
三重県議会議員	田中 智也
三重県議会議員	津田 健児

三重県議会議員	山内 道明
三重県議会議員	山本 里香
三重県議会議員	芳野 正英
三重県議会議員	奥野 英介
三重県議会議員	中川 正美
三重県議会議員	中村 進一
三重県議会議員	廣 耕太郎
三重県議会議員	後藤 健一
三重県議会議員	田中 祐治
三重県議会議員	中瀬古 初美
三重県議会議員	野口 正
三重県議会議員	倉本 崇弘
三重県議会議員	小島 智子
三重県議会議員	三谷 哲央
三重県議会議員	山本 勝
三重県議会議員	小林 正人
三重県議会議員	下野 幸助
三重県議会議員	彦坂 公之
三重県議会議員	藤田 宜三
三重県議会議員	北川 裕之
三重県議会議員	中森 博文
三重県議会議員	津村 衛
三重県議会議員	東 豊
三重県議会議員	長田 隆尚
三重県議会議員	野村 保夫
三重県議会議員	大久保 孝栄
三重県議会議員	藤根 正典
三重県議会議員	日沖 正信
三重県議会議員	水谷 隆
三重県議会議員	中嶋 年規
三重県議会議員	山本 教和
三重県議会議員	稲森 稔尚
三重県議会議員	木津 直樹
三重県議会議員	館 直人
三重県議会議員	服部 富男
三重県議会議員	西場 信行
三重県議会議員	濱井 初男
三重県議会議員	村林 聡
三重県議会議員	吉川 新

三重県教育委員会委員	森脇 健夫
三重県教育委員会委員	岩崎 恭典
三重県教育委員会委員	黒田 美和
三重県教育委員会委員	原田 佳子
伊勢新聞社編集局長	綿貫 美希
朝日新聞社津総局総局長	斎藤 大宙
毎日新聞社津支局支局長	庭田 学
中日新聞社三重総局総局長	石川 保典
読売新聞社津支局支局長	奥村 圭
産経新聞社津支局支局長	福本 剛
日本経済新聞社津支局支局長	岡本 憲明
中部経済新聞社三重支社支社長	坂本 和優
一般社団法人 共同通信社津支局支局長	橋田 欣典
時事通信社津支局支局長	瀬戸 哲也
日刊工業新聞社三重支局支局長	堀 信一
日本放送協会津放送局局長	須田 俊明
CBCテレビ三重支社支社長	河邊 芳伸
東海ラジオ放送三重支局支局長	澤田 啓
東海テレビ放送三重支社支社長	小川 貴正
三重テレビ放送代表取締役社長	長江 正
名古屋テレビ放送三重支社支社長	小島 淳
中京テレビ放送三重支局支局長	太田 恵三
三重エフエム放送代表取締役社長	丹羽 勇
株式会社夕刊三重新聞社代表取締役社長	山下 至
三重新報社代表	岡原 一寿
吉野熊野新聞社編集長	谷川 隆富
いなべエフエム会長	弓矢 孝己
株式会社シー・ティー・ワイ代表取締役社長	渡部 一貴
三重県ケーブルテレビ協議会会長	塩冶 憲司

## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 役員名簿

会長1名、副会長8名、常任委員42名、監事3名 計54名

平成29年7月31日現在

(敬称略、順不同)

役職名	所属機関・団体・役職名	氏名
会長	三重県知事	鈴木 英敬
副会長	三重県議会議長	舟橋 裕幸
〃	三重県市長会会長	前葉 泰幸
〃	三重県町村会会長	谷口 友見
〃	公益財団法人 三重県体育協会会長	竹林 武一
〃	三重県副知事	渡邊 信一郎
〃	三重県副知事	稲垣 清文
〃	三重県危機管理統括監	服部 浩
〃	三重県教育委員会教育長	廣田 恵子
常任委員	三重県議会総務地域連携常任委員会委員長	下野 幸助
〃	三重県議会スポーツ振興議員連盟会長	西場 信行
〃	三重県市町教育長会会長	上島 和久
〃	公益財団法人 三重県体育協会副会長	藤澤 幸三
〃	公益財団法人 三重県体育協会副会長	向井 弘光
〃	公益財団法人 三重県体育協会副会長	濱田 典保
〃	公益財団法人 三重県体育協会副会長	武田 美保
〃	公益財団法人 三重県体育協会副会長	上田 豪
〃	公益財団法人 三重県体育協会副会長	梅村 光久
〃	三重県スポーツ推進委員協議会会長	馬場 宏
〃	一般社団法人 三重県レクリエーション協会会長	大川 吉崇
〃	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会会長	井村 正勝
〃	三重県中学校体育連盟会長	中西 裕之
〃	三重県高等学校体育連盟会長	辻 昭司
〃	三重県商工会議所連合会会長	岡本 直之
〃	三重県商工会連合会会長	藤田 正美
〃	三重県中小企業団体中央会会長	佐久間 裕之
〃	三重県経営者協会会長	小倉 敏秀
〃	公益社団法人 三重県医師会会長	青木 重孝
〃	一般社団法人 三重県病院協会理事長	濱田 正行
〃	公益社団法人 三重県看護協会会長	西宮 勝子
〃	公益社団法人 三重県歯科医師会会長	田所 泰
〃	一般社団法人 三重県薬剤師会会長	西井 政彦

常任委員	公益社団法人 三重県観光連盟会長	雲井 敬
〃	三重県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	木村 圭仁朗
〃	公益社団法人 三重県バス協会会長	雲井 敬
〃	三重県スポーツ推進審議会会長	鶴原 清志
〃	三重県防災対策部長	福井 敏人
〃	三重県戦略企画部長	西城 昭二
〃	三重県総務部長	嶋田 宜浩
〃	三重県健康福祉部長	田中 功
〃	三重県環境生活部長	井戸畑 真之
〃	三重県地域連携部長	鈴木 伸幸
〃	三重県地域連携部スポーツ推進局長	村木 輝行
〃	三重県地域連携部南部地域活性化局長	伊藤 久美子
〃	三重県農林水産部長	岡村 昌和
〃	三重県雇用経済部長	村上 亘
〃	三重県雇用経済部観光局長	河口 瑞子
〃	三重県県土整備部長	水谷 優兆
〃	三重県企業庁長	山神 秀次
〃	三重県病院事業庁長	長谷川 耕一
〃	三重県警察本部長	難波 健太
監事	三重県会計管理者（出納局長）	城本 暁
〃	市会計管理者（伊勢市会計管理者）	森井 啓
〃	町会計管理者（紀宝町会計管理者）	佐藤 州弘

## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 常任委員会委員名簿

委員長1名、副委員長8名、委員42名 計51名 平成29年7月31日現在  
(敬称略、順不同)

役職名	所属機関・団体・役職名	氏名
委員長	三重県知事	鈴木 英敬
副委員長	三重県議会議長	舟橋 裕幸
	三重県市長会会長	前葉 泰幸
	三重県町村会会長	谷口 友見
	公益財団法人 三重県体育協会会長	竹林 武一
	三重県副知事	渡邊 信一郎
	三重県副知事	稲垣 清文
	三重県危機管理統括監	服部 浩
	三重県教育委員会教育長	廣田 恵子
常任委員	三重県議会総務地域連携常任委員会委員長	下野 幸助
	三重県議会スポーツ振興議員連盟会長	西場 信行
	三重県市町教育長会会長	上島 和久
	公益財団法人 三重県体育協会副会長	藤澤 幸三
	公益財団法人 三重県体育協会副会長	向井 弘光
	公益財団法人 三重県体育協会副会長	濱田 典保
	公益財団法人 三重県体育協会副会長	武田 美保
	公益財団法人 三重県体育協会副会長	上田 豪
	公益財団法人 三重県体育協会副会長	梅村 光久
	三重県スポーツ推進委員協議会会長	馬場 宏
	一般社団法人 三重県レクリエーション協会会長	大川 吉崇
	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会会長	井村 正勝
	三重県中学校体育連盟会長	中西 裕之
	三重県高等学校体育連盟会長	辻 昭司
	三重県商工会議所連合会会長	岡本 直之
	三重県商工会連合会会長	藤田 正美
	三重県中小企業団体中央会会長	佐久間 裕之
	三重県経営者協会会長	小倉 敏秀
	公益社団法人 三重県医師会会長	青木 重孝
	一般社団法人 三重県病院協会理事長	濱田 正行
	公益社団法人 三重県看護協会会長	西宮 勝子
	公益社団法人 三重県歯科医師会会長	田所 泰
一般社団法人 三重県薬剤師会会長	西井 政彦	



常任委員	公益社団法人 三重県観光連盟会長	雲井 敬
	三重県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	木村 圭仁朗
	公益社団法人 三重県バス協会会長	雲井 敬
	三重県スポーツ推進審議会会長	鶴原 清志
	三重県防災対策部長	福井 敏人
	三重県戦略企画部長	西城 昭二
	三重県総務部長	嶋田 宜浩
	三重県健康福祉部長	田中 功
	三重県環境生活部長	井戸畑 真之
	三重県地域連携部長	鈴木 伸幸
	三重県地域連携部スポーツ推進局長	村木 輝行
	三重県地域連携部南部地域活性化局長	伊藤 久美子
	三重県農林水産部長	岡村 昌和
	三重県雇用経済部長	村上 亘
	三重県雇用経済部観光局長	河口 瑞子
	三重県県土整備部長	水谷 優兆
	三重県企業庁長	山神 秀次
	三重県病院事業庁長	長谷川 耕一
三重県警察本部長	難波 健太	

